

サカタ二友の会ニユース

とんからりん

発行者
株式会社サカタニ
集西薬・サカタ
ファミリーマート
サカタ二条七条店
〒605-0993 京
東山区七条こころ坂下
・075-561-7974
URL www.sosake.jp/
E-mail info@sosake.jp
とんからりんは
毎月発行の
会員新聞です
編集・酒谷義郎
yosirou@sosake.jp

自己責任という

あいまいな流行語

近年、マスコミでも一般的にも良く使われている「自己責任」という言葉がある。以前から何かシツクリとした日本語だと思っていた。そこで辞典をくって見たが無い。その辞典は1995年初版小学館「大辞典」だ。「自己」につながる言葉は、山程あるのに、「責任」と重ねた形で掲載されているものは無い。

なるほど、確かに「責任」を辞書で引いても「自分が引き受けて行わなければならない任務、義務」とか「自分がかかわった事柄や行為から生じた結果に対して負う義務や償い」(by 大辞林)と出てきます。「自己責任」というのは、間違った使い方ですか？

「自分のしたことは自分で自分の責任を取るのだから」という時なら「自分の責任」と良いのに、「自己責任」の言葉が一般化したのは小泉内閣時代頃だと思っ

た。回答ベストアンサーに選ばれた kaori_ucc さん
なるほど、深く考えたこととありませんでした。確かに責任は自分が負うものですが、他者Aさんに責任を負わせる(結果Aさんが責任を負う)ことはできません。「責任の所在を明らかに」すべく検証した結果、他者に責任を負わせるべからず、自分で負つべしということを「自己責任」という表現で言い換えたのではないのでしょうか。間違いかそうでないかといえどどちらでもないと思います。新語ですから、完全な日本語ではないダブルのハモる、トランプるなどもうでは定着し、間違っ

ると指摘する人もいません。解ったような判らない答え。新語ですからシャーないではアキマヘン。「自分のしたことは自分で自分の責任を取るのだから」という時なら「自分の責任」と良いのに、「自己責任」の言葉が一般化したのは小泉内閣時代頃だと思っ

たのだからお前が責任をこれ」と言う、「上から目線」で使われている。その裏にはその原因をつくった者の責任に逃れが見え見えではないだろうか。後期高齢者を分別したのは政府と国会、でもその結果責任は高齢者にのしかかる。有明海諫早湾潮受け堤防の187年4月「キロチン仕切り」に当時大反対していた人は総理になつたが堤防の開門には知らんぱり？



第70回朝粥食べておしゃべり会報告

10/17 第3日曜日
70回も開催数日前に定員なりお断りした方が出た。申込されて当日僅かだが欠席の方があり断つた方に申し訳ない思いが残る。

今回は、深谷秀子様の朗読で「随筆・荒城の月」(砂岸あろう作)と小説「うぐいす」(藤沢周平作)をお聞かせて戴いた。
黙読するのは違い声の強弱とリズムの変化であたかも自分がそこにいる様に感じている感じが



した。朗読は素敵だ。お読み下さった「荒城の月」は弟の嫁(砂岸あろう)の作であり、彼女も私もその場に入ったことが主題のため胸の奥からこみ上げるものを感じた。この話は私も「とんからりん」に書いたが、この随筆と落差大きくて落胆して捨てたのだからか掲載号は
残って
いない。

責任(被害)は漁民が被っている。
「自己責任」という言葉を聞いた時は、言った相手の責任の「有無」とり方を確認

認してから「自分のした現実を認めて「自分の責任」負うことにしよう。酷い目に遭うのは常に弱者で、うっかりしている」と大事に至る。

私の時代一・二年は男共学だが後は別々組、卒業写真も男子分しかない。だから美少女と近くに住む人の外は漠然としか記憶ない。
60年以上会わず、姓の変つている友も参加したが、記憶のある美少女も昔の姿とイメージ調整に数分は要した。

七条通の電柱 地中化を望む

七条大橋から東をみると美しい阿弥陀堂が見える。豊臣秀吉公の墓所があるこの山は東山36峰でも一番市街地に近い。

最近丸太町通が電柱地中化された。三条通も五条通も既に地中化されている。歩行者は七条より少ないのに、

だがチヨット話すと幼い時の顔が浮かんだ。64年前が数分で蘇つたのだ。「会」では時間を超越したオシャベリが乱れ飛び、大いに歌い楽しんだ。既に遠い記憶を思い出しながら「脳が刺激され「認知症」遠くなった。同窓会万歳！である。

「とんつき」に智積院、七条通り南側に三十二間堂、北には京都博物館、山裾には京都女子学園、それらのアクセスとして京阪七条駅もある。歩行者は鴨川東の通りでは四

した。朗読は素敵だ。お読み下さった「荒城の月」は弟の嫁(砂岸あろう)の作であり、彼女も私もその場に入ったことが主題のため胸の奥からこみ上げるものを感じた。この話は私も「とんからりん」に書いたが、この随筆と落差大きくて落胆して捨てたのだからか掲載号は
残って
いない。

その日の昼、この号の私たちの「同窓会」のことを書き終えていた。タイムングが良過ぎるが、番組をみて思い当ること多い。
私の時代一・二年は男共学だが後は別々組、卒業写真も男子分しかない。だから美少女と近くに住む人の外は漠然としか記憶ない。
60年以上会わず、姓の変つている友も参加したが、記憶のある美少女も昔の姿とイメージ調整に数分は要した。

ヨシちゃん
ひとりごと



抑げば尊しに
涙する

先月18日京都市立貞教国民学校(校章・千成瓢箪)を64年前(1946年(昭21))に卒業生の「同窓会」を当社二階で開催した。(筆者も一員)

卒業時は男女百十名余名だったが男組担任森本先生や多くの学友は鬼籍に移られ、女組担任のS・R子先生と51名に開催通知28名が集まった。この同窓会は30年位から毎年開催しているが、近年は一年の間に誰か亡くなり、開催前に「黙祷」をすることに

なる。今年は全員元気だと思っていたら、毎年参加して呉れていたT・M子さんの娘さん「J子」さんから母が6月になくなり何時も楽しみにしていた同窓会なので参加させてと通知の返事に書き込まれていた。勿論応諾電話を入れた。私たちは皇紀式千六百年行



一年は組(1940)

事(昭15・1940年)で日本が世界一番とが浮かれた、日中戦争に最中に「尋常小学校」

入学、翌年「太平洋戦争が勃発し同盟国ドイツを真似て国民学校になる。東山馬町に米軍機が爆弾を落とす(20年(19)6年生春「学童疎開」した。「集団疎開」をした学友は飢えと「蚤・シラミ」で苦しんだとか。そして敗戦で再び貞教校で学び卒業、旧制中学(5年制)に入学。中学2年生時、今度は戦勝国アメリカに做つて「633制」になる。言わば戦争に振り回された少年少女時代を送り、飢えと空襲の恐ろしさを共に経験した世代。その頃でも「イジメ・暴力」は有ったが「先生に言うたんねん」の一言で殆んど治まった。さて、同窓会は「M子さんと亡き友に黙祷と挨拶」から一時限目「給食」アルコール付二時限目「音楽」で冒頭S・R子先生の独唱「宵待ち草」と「からたちの花」をお聞きした。お姿も同級生より若くお美しいが、86歳とは思えないソプラノが響いた。続いて全員で「青い山脈」他唱歌の合唱、最後に全員起立し過つて卒業式の定番「で今は歌われない「抑げば尊し」を歌った。終わると暫く静寂。恐らく全員が亡き先生や友。小学生時代を思い出し声が出ていた。目を赤くしている友もいた。母代理の



「J子」さんも。三時限目は「自由時間」大いに盛り、全小学校の休み時間状態、横着もの、やおおしゃべり屋は今もソノママ、喧しくても楽しい時間が過ぎ、来年元気再会を約し談会した。

パソコンと老人

この文()は毎日送られて来る「ケメコ通信」から(勝手に)貰ったものです。身に覚えのあることが書かれていたので転載しました。(毎日新聞 2010年10月26日) 66歳になった。

特別の感慨があるわけではないが...若いころ「100歳は生きるぞ!」と宣言したから66歳は「我が寿命の3分の2」に当たる。もちろん、予定は未定にして決定にあらず...47歳の時、脳卒中で倒れたので「100歳生きる予定」は大幅に狂った。それでも「100歳は無理だが、まだまだ大丈夫!」と思っていたのだが...全国有料老人ホーム協会のシルバー川柳を見てがくせんとした。動かない エレベーターや

押し忘れ(埼玉県77歳女性) 僕にもある。

なぜ消える 眼鏡と鍵の ミステリー(埼玉55歳女性) これもバッチリ。眼鏡がなくなつて大騒ぎは日常茶飯だ。

持病には 医者顔負けの 知識あり(香川県77歳男性) 高血圧などの持病があつて、数種類の「クスリ」を飲んで

いる。1957年に小学校を卒業した仲間が同窓会を開いた。出席者38人。盛会だった。が「再会のあいさつ」は「いつ死んでもおかしくない年齢になつたな」としみじみ。病気で欠席した人が数人。が

んを克服して出席したやつもいる。どう見ても恩師より「年上」に見えるじいさん、ばあさん。同窓会は最近亡くなつた「居酒屋のママ」だった同級生への黙とうで始まつた。要するに...66歳は「立派なシルバー」。「死」を意識しなければならぬ年齢なのかもしれない。

同窓会の夜、眠れなくなつた。家族に迷惑は掛けられない。いつ死んでも良いように準備する必要があるのかもしれない。借金がある。これは片道キップで乗車したら「途中下車」するようなものだから仕方がない。家族は相續放棄

すれば良い。それより...面倒なことに

気づいた。パソコンのデータのことである。人生の途中に突如現れた新兵器「パソコン」。これを何のちゅうちよもなく利用してきたが...死んだらどうなるのだらう? 急に不安になつた。

パソコンに入れているデータを「残すのか?」「捨てるのか?」。捨てるとして、どうすれば良いのか? (データ完全削除ソフトがあるらしいが) 大変な作業ではあるまいか? ヘンなものを残したら、人生最大の不覚?

取りあえず、パソコンの整理が済まないと簡単に死ねないぞ!

これが偽りない「66歳の心境」である。【この筆者のお方は66歳、編集者は来年77歳。目標は欲張つて108歳としている。従つて「パソコンは当分整理しない」つもり。



人様より二週遅でスタートしたのでマダマやる足りた事山ほどある。だが「文」中の「独白」は11歳年下のこの方と全く同感。若い自分を誉めよう。66歳が「立派なシルバー」と言われると77歳は「ゴールド」だらうなあお金も無いのに...

京都&東山 ぶらりピカリ

25

音羽山清水寺・音羽の滝水源の

音羽川

がこの

稿を書くのに「ネット検索」で「Kori-ver.web.fc2.com」ページが見つかり写真や文の一部はそれを借用して書いた。下流から水源まで大変詳しい内容で写真も多い。「音羽川」は前・後篇に分割された力作。検索してご覧なされると良いと思う。」

東山区は、東山と鴨川に挟まれた坂の多い地形で、北から菊谷川、清水川、音羽川、一の橋川(滝尾川?)、二の橋川、三の橋川があったらしい。9月号で連載の「京阪電車」関連で「井出川」と疎水開門のことを書いたので今回は「音羽川」を書く。



この名の川は、山科・左京区他全国各地に(川だが)「山」

程ある。今回の音羽川は清水寺(音羽山=清水寺山号)奥の院の下に流れ出る三筋の滝(音羽の滝)を水源と正面北で鴨川(後は疎水)に至る川のことである。



間を流れていた川が音羽川公園本町

を本町東で南に、現本町児童公園付近で西に折れ疎水に入る。

私の子供時代問屋町通り「津田家(現存)」の北側に橋があり「川」が見えていた。琵琶湖疎水に流れ込むのだが

「疎水」との水量調整用の「調整関」があり、音羽川の水量がある程度溜まらないと疎水に流れ出ないようになっていた。その付近の川は「ゴミ」が沢山浮いていた。

渋谷通本町東、本町4丁目、鞆町、問屋町、川端通りに音羽川を跨ぐ橋(5ヶ所)が(1960年頃まで)有ったが、今は東大路東で暗渠。疎水近くの現貞教会館は正に「川」真上に当たる。



は少ないが「川」が地上に出ているところもある。川の名は音羽川で「滝」が

滝の水は滝から南西に流れ西大谷南で小松谷からの流れと合流、現五条通り南



清水の舞台下の谷は「錦雲漢」と呼ぶ。清水寺は山中からの湧き水「清泉」からその名がつい

水源ではあるが、多分阿弥陀ヶ峰北から清水山以南の幾つかの小川が流れ込んでいたのだらう。上馬町から清水寺へ行く道も砂防堤がある小川がある。子供時代よく「川蟹が多かったので友人達と携りに行った。最近通ると水は殆んど無い。



これを書くことで始めて知ったことも多い。探索しネット掲載された方に感謝して終わる。

たとか。京都観光で来れる方々も「音羽に滝」の「黄金水」「延命水」、日本名水の筆頭とご存知でもその足元から「音羽川」に流れ出て、ドブ川のような姿から暗渠になり疎水に至ることはご存知ないだらう。私も同様で

(連載)京阪電車 走り続けて 100年

京阪電車は最初、大阪堺筋の高麗橋を基点にする計画でした。しかし大阪市は市電を天満橋への延長計画があり、京阪電車の天満橋基点しか認めませんでした。戦後、やっと都市交通審議会で天満橋から西へ、大阪地下鉄御堂筋線まで線路延長が認められました。会社は社運を賭けてと言われるぐらいの資金を注ぎ込み、難工事を克服して2003年4月16日に淀屋橋延長開業が実現しました。

線路が合流するところでは事故が起こり易いのですが、京阪電車では京橋・野江間で急行線に普通線が合流していました。

2008年8月、合流する普通列車の横腹に急行列車が衝突しました。そこで開発を進めていた信号が示している速度を超える急ブレーキがかかる、列車自動停止装置(ATIS)を取り付ける事にしました。2年後には京阪線全線に取付となりました。これも私鉄では日本最初でした。パーカーは平坦線で世界最初の電力回生電車でした。

21 庭用クーラーが話題になったころ、夏場の朝夕の超満員電車対策として冷房装置の取付が望まれました。電車では戦前、南海電車で2年間取付記録がありますが時節柄、普及はしませんでした。戦後は特別料金が必要でした。近鉄特急、国鉄特急、急行電車に取付られました。一般車では関東の京王電鉄が日本最初で、

淀付近に行くスーパーカー2000系電車



翌年京阪電車も一般車での冷房サービスを、2008系で1970年5月から開始となりました。関西では最初でした。

22 淀屋橋延長は会社にとって大成功でした。沿線開発が進み乗客が増え、電車は増結することで輸送力増強に対応しました。でも複線では走らせる列車数には限界があります。最初に悲鳴をあげたのは京橋駅でした。守口から複々線で野江まで順調に走れても、京橋駅手前で複線になったのでは満員列車をスムーズに捌けませんが、降りる乗客だけでなく淀屋橋延長で都心への乗客も増加したのです。

その解決のため野江・天満橋間の複々線延長工事が昭和45年11月完成となりました。

